

科目名 Course Name	権利擁護と成年後見制度 I (更生保護制度含む) Advocacy and Adult Guardianship I			ナンバリング No.	I3-001		
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊信成						
連絡先(質問等)	福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP4						
授業の概要と到達目標	<p>わが国の基本的な考えを示している日本国憲法の基本原則内容(国民主権・基本的人権の内容・権力分立制・平和主義)と基本的人権の様々な種類、さらには日本国憲法の下に制定された民法の社会的弱者に対する保護規定(制限行為能力者の制度)や任意後見契約に関する法律という特別法の具体的内容の知識を図る。</p> <p>①相談援助活動と日本国憲法の基本原理、民法・行政法を理解し、説明できるようにする。 ②成年後見制度や任意後見制度の必要性と活用について理解し、説明できるようにする。 ③権利擁護の必要性や成年後見制度利用の実際について理解し、説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	①相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む)との関わりについて説明できる。 ②相談援助活動において必要となる成年後見制度の内容と活用について説明できる。					
	L03	社会的排除や虐待などの権利侵害についてその特徴を列挙でき、権利擁護がなぜ必要なのかを説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	①『権利擁護と成年後見制度』 弘文堂 ②『更生保護制度』 弘文堂 他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにすること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。原則、「権利擁護と成年後見制度 I」だけの履修は認められない。「権利擁護と成年後見制度 II」も履修すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					

合 計		40	60
------------	--	----	----

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(権利擁護と成年後見制度 I へのいざない、授業の進め方の説明)
	事前・事後学習	権利とは何かについて自己の考えをまとめておくこと。ノートに記載すること。
2	授業内容	日本国憲法の理解(I): 憲法の基本原理
	事前・事後学習	日本国憲法の基本原理についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
3	授業内容	日本国憲法の理解(II): 基本的人権の意味と種類
	事前・事後学習	基本的人権の意味と種類についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
4	授業内容	日本国憲法の理解(III): 基本的人権の種類(1): 自由権の意味と種類
	事前・事後学習	自由権について意味を調べておくこと。ノートにまとめること。
5	授業内容	日本国憲法の理解(IV): 基本的人権の種類(2): 社会権の意味の種類
	事前・事後学習	社会権について意味を調べておくこと。ノートにまとめること。
6	授業内容	日本国憲法の理解(V): 基本的人権の種類(3): 朝日訴訟について レポート「人権の尊重について」
	事前・事後学習	基本的人権の種類について調べておくこと。ノートにまとめること。
7	授業内容	民法の理解 契約、不法行為、親族、相続、その他
	事前・事後学習	民法とは何かについてノートにまとめること。
8	授業内容	行政法の理解 行政行為、行政事件手続、情報公開、その他
	事前・事後学習	行政法についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
9	授業内容	成年後見の概要(1): 成年被後見人
	事前・事後学習	成年被後見人について意味を調べておくこと。ノートにまとめること。
10	授業内容	成年後見の概要(2): 成年後見人
	事前・事後学習	成年後見人について意味を調べておくこと。ノートにまとめること。
11	授業内容	保佐と補助の概要、任意後見について
	事前・事後学習	保佐と補助の相違についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
12	授業内容	日常生活自立支援事業①概要について
	事前・事後学習	日常生活自立支援事業の概要についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
13	授業内容	日常生活自立支援事業②生活支援員の役割、最近の動向
	事前・事後学習	日常生活自立支援事業の概要についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
14	授業内容	成年後見制度利用支援事業について 事業の概要
	事前・事後学習	成年後見制度利用支援事業についてテキストを参照にしてノートにまとめること。
15	授業内容	日本国憲法と民法の社会的意義
	事前・事後学習	日本国憲法と民法の社会的意義について自己の見解をまとめること。試験対策を行うこと。